



## 中国

# 26 貴陽-婁底鉄道建設事業(1)(2)

A  
B  
C  
D

貴州省貴陽-湖南省婁底間の既存路線を電化・複線化することにより、逼迫する輸送需要に対応し、貴州省および雲南省で産出される石炭、燐鉱石等の貨物および旅客の西南、華中、華東、華南への輸送力の増強を図り、もって内陸部の経済成長の促進に寄与する。

承諾額/実行額 299億6,000万円/156億9,600万円  
借款契約調印 1996年12月、1997年9月  
借款契約条件 金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイト  
貸付完了 2003年1月、2003年4月  
実施機関 鉄道部広州鉄路集团公司・成都鉄路管理局



外部評価者 三島光恵(オーパシス・プロジェクト・マネージメント・コンサルタンツ(株))  
現地調査 2004年10月

## 評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに貴陽-婁底間の複線化・電化(軌道、路盤、橋梁、トンネル、駅、変電所、通信・信号等の整備)が行われた。期間は計画を下回ったが、事業費は計画を若干上回った。

本事業路線の貨物および旅客輸送量は、2003年の計画値ではそれぞれ116億8,326万トン・km、36億176万人・kmであったのに対し、03年実績では、それぞれ163億5,100万トン・km、47億3,700万人・kmに達している。また、平均列車運行本数は6割増加し、所要時間は約2時間短縮された。

本事業により、従来、輸送制限のあった石炭、燐鉱石等の輸送量が増加したため、産出量が増大した。これに伴い、沿線の肥料工場では、生産量は過去3年で約3倍、販売収入は2倍以上となった。また、沿線には景観が美しい地域があり、観光客の増加に伴う、観光業の活性化による経済開発が促進された。さ

らに、本事業路線は交通が不便な内陸部に位置し、経済発展が制約されている貧困地域を通るため、都市部へのアクセス向上により農産物の販売や出稼ぎが容易になり、沿線地域※に住む少数民族を含む住民の生活水準が改善された。

鉄道部は、組織の効率化・簡素化を進めており、技術、体制、財務面について問題はない。

※ 貴陽市、黔东南苗族侗族自治州、懷化市、婁底市の人口は1,600万人を超える。

## 第三者意見

本事業は、内陸部と沿岸地域を結ぶ輸送力を増強し、資源開発を通じた貴州省を含む内陸部の成長に寄与している。今後、貨物料金の定額制を見直し、輸送コストと輸送手段の適正化を図ることが必要である。

有識者 Mr. Yushi Mao (学者)

上海交通大学学士(機械工学)。現在、天則経済研究所取締役。専門は経済学、環境経済等。

### 本事業による主要貨物輸送量の変化

(単位:万トン)

貨物	1998年	2003年	増加率
石炭	305	450	48%
化学肥料・農業	120	144	20%
燐鉱石	68	118	72%
鉄鋼	35	112	220%
非鉄金属	67	93	39%
木材	16	20	25%
その他	187	204	9%
合計	798	1,140	43%

出所:鉄道部成都鉄路管理局貴陽分局、広州鉄路集团公司のデータ合計

貴州省は自然に恵まれ、エネルギー、鉱物、生物、観光資源について、中国でも大きな地位を占めている。本事業により、石炭、燐鉱石、鉄鋼等の輸送量が増加し、地域経済の発展に貢献した。

### 本事業の実施地域●貴州省

貴州省は、人口約3,837万人(2002年末)で、少数民族(ミャオ族、ブーイー族、トン族等)が38%と、全国でも少数民族の多い地域であり、本事業による貧困緩和のプラスのインパクトがあった。また「鎮遠古鎮」等、風光明媚な観光名所も点在し、観光業へのプラスのインパクトも報告されている。



ミャオ族の人々



貴州省の観光名所「鎮遠古鎮」